

# 安曇野市公民館報

安曇野市  
中央公民館  
No.55 2020.7.8  
TEL71-2466

### 小学生向け自然体験講座

夏休み中に鐘の鳴る丘集会所を会場に「松枯れ材を使った椅子づくり教室」を開催しました。市耕地林務課職員が講師となり松くい虫についてのミニ学習を行った後、子どもたちは大人に助けをもらいながら自分の椅子づくりに熱心に取り組んでいました。

「国営アルプスあづみの公園大町松川地区で楽しく過ごそう！」では、11人の児童と保護者が自然・食・クラフト等の各体験を行い楽しく過ごしました。

1月には「小学生スキー教室」を実施しました。



### 公民館事業紹介

## ①穂高公民館

新型コロナウイルスの影響で、公民館活動の出発点である「集う」が厳しく制限され、4～6月の講座を中止しました。そこで、今号は穂高公民館と豊科公民館で実施した昨年度の講座の様子について紹介します。

### 趣味の講座

「歌声喫茶」には60人を超す大勢の参加があり会場一杯に歌声が響き渡りました。他に「押花教室」「絵手紙教室」「わらかご作り教室」を開講しました。絵手紙教室・わらかご作り教室は今年の秋も開講予定です。



### 料理教室

「世界を巡る料理①②」「バレンタイン料理」「Vif穂高を会場にそば打ち教室」の4回の料理教室を開催しました。

### 季節のコンサート

7月に「夕涼みジャズコンサート」を開催しました。



ジャズバンド「モダン・デュークス」とアマチュアの女性ジャズボーカル・ユニット「Y's Gem」が共演して艶やかに歌い、コンサートを盛り上げました。

### 健康づくり講座

「誰でもできる！フロアバレエ」「気軽にフラダンス」「格闘技風エクササイズとストレッチ」「ボイスフィットネス」の4講座を実施しました。ボイスフィットネスは「声を出し歌を歌って発散、身体と心をほぐしてストレスを解消、脳トレにもなり認知症予防にも役立つエクササイズ」のことです。音楽療法士の杉本裕子さんを講師に35人が受講しました。講座終了後、自主的なサークルが結成され、杉本さんを講師に現在も活動中です。

### 自然体験や環境に関わる講座

#### ☆「初心者向けバードウォッチング教室」

4月、信州野鳥の会会長の植松晃岳さんを講師に松尾寺山公園で開催しました。19人の参加者が安曇野に渡ってきたばかりの夏鳥の観察を熱心に行いました。



#### ☆「初心者向け登山講座」

「山の日」にちなんで4月から3回シリーズで開催しました。1回目は、光城山登山をしながら山道の歩き方についての実地体験、2回目は、座学で山の気象や地図の見方についての学習、3回目は、あいにく梅雨入りの日と重なり雨の富士尾山登山になりましたが、欠席者もなく19人が参加しました。下山後「雨天の登山経験ができ、かえっていい思い出になった」と話す人もいました。

#### ☆里山トレッキング講座

6月、1回目の講座「浅間山外輪山の黒斑山登山」を実施しました。60人を超す申込者の中から抽選で選ばれた20人が参加しました。好天に恵まれ、シャクナゲが美しく咲く黒斑山への登山道を約2時間かけて登り外輪山の縁に立つと、眼前に広がる前掛山の絶景に参加者から感動の声が上がりました。富士山も見えました。体力的にきつかった人もいたようですが、皆満足して下山口の浅間山荘に下りてきました。10月、2回目の講座では「浅川山～冷沢経由～信濃坂ルート」を歩き、20人の参加者は紅葉の美しい西山の自然を満喫しました。



ここ数年、講座がきっかけで幾つかの自主的なサークルが結成されており、講座が生涯学習につながったと思っています。

今後も市民のニーズ把握に努め、講座の充実を図っていききたいと思います。

(穂高公民館長 中田光男)

# 古きを尋ねて

## ③6 潮神明宮の 日岐盛直神田寄進状



就望于牛尾之宮、神田共に進置候。神事等如前々、可被相勤之者也

弥之未之曆  
正月十二日盛直(花押)

彦衛門尉殿

寄進状の読み下しは「望みに就いて、牛尾の宮、神田ともに進置候。神事など前々の如く、これを相勤められべき者也」となる。寄進状が書かれたのは天正11(1583)年とされ、織田信長が武田氏を滅ぼした翌年である。盛直の先祖は戦国時代以前から生坂地方に住んでいた丸山氏が、仁科氏からの入婿により勢力を犀川地域に拡大、日岐郷に城塞を構築し日岐郷地域を掌握、日岐氏を名乗ったとされる。一方、宛所は宮下彦衛門尉とあり、麻績神明宮の幣取神主、すなわち専ら御祭神に仕えた上席の神主、齋主にあたる人物と考えられている。当時「牛尾之宮」(潮神明宮)は麻績神明宮の支配下にあった。天正10(1582)年、武田氏の滅亡により織田氏の勢力下に入

った信州だが、まもなく本能寺の変において信長が亡くなると、近隣の大名の侵略にさらされた。安曇野も松本城主の小笠原氏と越後の上杉氏の勢力争いに巻き込まれていく。

天正11年初頭、麻績の地は上杉氏によって制圧され、潮は小笠原氏の勢力下におかれつつあった。潮に領地を持つていた盛直は上杉氏に属したため、小笠原氏に攻められて日岐郷を追われた。この寄進状は盛直が神田を寄進して武運を祈ったものなのか、盛直がこの地に復帰したら寄進するという約束手形だったのか。いずれにしても、彦衛門尉が潮の地の本来の領有権を持つ盛直に対し、牛尾之宮とその神田が麻績神明宮の幣取神主の支配下にある事を確認する事を要求して出された文書であろう。寄進状の日付は「弥之未之曆」と読み、盛直が身を寄せていた上杉氏の用いた三島曆をさすと考える説もある。当時は朝廷のある京都だけでなく各地方でも曆が発行されており、まれに日付の食い違いが生じることもあった。

大きな勢力に挟まれ、領有権争いの中で生き残るための知恵を、同時代の他の史料と併せて読み取ることができ、貴重な文書である。



# 地区公民館だより

## 牧地区公民館(穂高)

牧地区は西山の麓に位置し、常念山麓には縄文時代から弥生時代の遺跡や古墳がある。

また創建が平安の初め頃と伝わる栗尾山満願寺がある。江戸時代には十返舎一九が訪ね、続膝栗毛の中に書き全国に紹介した。

一方、大正中頃から始まった登山ブームの中で、牧では多くの山案内人が活躍した。大正9(1920)年に槍ヶ岳への近道「喜作新道」を開鑿した小林喜作らが、アルプス銀座の礎を築いた。さらに牧は教育にも力を入れ、江戸時代には10ヶ所の寺子屋があり、明治6(1873)年には、後に西穂高小学校牧分校場となった研成学校牧支校が開校し、充実した環境であった。



西穂高小学校牧分校場

牧地区公民館では、区民のふれあいや親睦を重視した事業を行っている。

文化部の事業では、5月のこの日に、栗尾山満願寺への遠足を行っている。満願寺は歴史の上

でも重要な文化財であり地区の宝でもある。

この文化に触れながらロマンを求めの散策は、親子のふれあいは元より地区の親子間のふれあいにもなる重要な機会である。毎年子どもの成長ぶりを楽しみに大勢の参加者があり、ゲームなどの楽しみもある。



満願寺遠足でのピンゴゲーム

また、人権学習にも力を入れている。ここ数年は、障がい者の人権について、長野県政出前講座を活用して、毎年テーマを変えて行っている。

体育部の事業では、マレットゴルフ大会を行い、子どもから高齢の方まで大勢の参加があり、ベテランの手ほどきを受けながら、和気あいあいの中で行われ、区民のふれあいに大きく貢献している。

さらに、10月には敬老会・芸能祭・文化展を同時に行い、区民の演芸や文化作品を鑑賞しながら、ふれあいを行っている。

これからも、区民のふれあいや親睦が深まる事業活動を展開していきたい。

(牧地区公民館長 田中吉弘)

# グループ紹介

## 三郷音頭保存会(三郷)

三郷音頭保存会の発足は、昭和33(1958)年の三郷村合併5周年記念として「村を象徴する歌を作った」ことにさかのぼる。8月末までの募集期間に多く寄せられた歌詞の選考と補作、作曲、振り付けは専門家に任せられたが、短期間に地域の人たちの踊りの練習まで行い、11月に三郷中学校講堂でお披露目となった。村が作った三郷音頭のレコードは村内に配られ、会員約30人からなる三郷音頭保存会が結成された。その後、村民から図案を募り、北アルプスと梓川の清流や稲穂がデザインされたゆかたが保存会により製作され、各家庭に配られた。

保存会には最多で男女70人を超える会員がいたが、時代の流れとともに会員数が減少した。「消滅させてしまうのは今まで保存会を



平成24年度 三郷地域市民芸能発表会

支えてくださった先輩方に申し訳ない」と会員募集を続けながら地域のイベントに積極的に参加したり、施設訪問などの活動をしてきた。スペシャルオリンピックックス長野大会開催の折には、海外から訪れた関係者をおもてなしするため踊りを披露し、共に踊り交流を深めた。

次世代へと三郷音頭のたすきをつなぐべく、三郷小学校のクラブ活動で踊りの指導をしている。三郷音頭だけでなく、歌謡曲に合わせて振り付けをして踊っている。ふるさと祭りや芸能発表会では、小学生も衣装をまとい、共に舞台に立っている。

現在の会員は、代表の丸山晴子さんと初代代表の中野智子さん、先生を含めて6人のすてきな女性たちだ。「新しい踊りを練習するときは苦労もあるが、皆で励まし合い、うまく踊れるとうれしい」「全身と頭を使って踊っているおかげで、身のこなしがきれいと言われるのがうれしい」「会員が集まって話をするのが楽しい」など、それぞれに踊る楽しみと集う楽しみを見つけ、日々の暮らしの活力となっている。

保存会は、毎週火曜日(1、2月は休み)の夜に三郷公民館2階で練習を行っている。

随時、会員募集中です。  
問い合わせ先

三郷公民館 77・2109

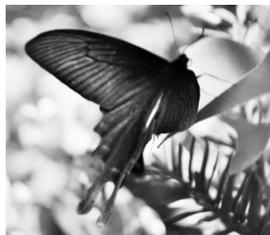
# 私は一生懸命

## 片桐厚子さん(堀金)

片桐さんは、チョウやトンボが飛び、池にメダカや水中生物がすみ、木々には鳥が来る環境を備えたバタフライガーデンを目指している。自宅の周りにチョウの食草となる花や木を育て、500平方メートルほどの庭一面に何種類もの宿根草を植え、一年を通し花が絶えることがない。



ジャコウアゲハ



ジャコウアゲハの食草であるウマノスズクサの定植を30年ほど前から始め、何株も育て

ている。食草の説明を聞いている最中にも雌雄のジャコウアゲハが飛び交う。ミヤマカラスアゲハの食草になるキハダの大木が繁り、アサギマダラの食草になるフジバカマも植え付けている。近年はクアラの苗を植えオオルリシジミの飛来を楽しみにしている。

チョウの舞う庭づくりの普及と実践に取り組んでいて、昨年は豊科公民館の出会い・ふれあい・生

きがいセミナー「花と生き物が棲む庭づくり」の講師として自分の庭作りの工夫を話した。

ガーデンファームライフオブ安曇野の会員で会発足以前からオーブンガーデンに力を入れてきた。花や食草を育て、自然界の生き物に出会える喜びを味わい、花庭訪問に来られる人との交流や仲間との絆に生きがいを感じている。

花づくりに精魂を傾けているが1番思い入れがあるのは山登りだと言います。堀金中学校の常念登山に同行し引率している。地域の山好き仲間が応援して登山行事が継続していく事を願っている。

最近、捕虫網を持って家庭菜園に入りジャコウアゲハを捕獲にくる子どもたちがいて、注意するのも、諭すのも難しく心を悩ませている。チョウに興味がある子どもたちには、庭の片隅にスミレ類を植え、産卵からサナギ、チョウという変態を観察して楽しんでほしいと話します。庭を説明中、食草の葉の裏に産み付けられたチョウの卵を見つけ、子どものようにキラキラと瞳を輝かせていた。



ウマノスズクサ

公民館事業紹介

②豊科公民館



豊科公民館大ホール

豊科公民館は最大700人収容できる大ホールがあることが大きな特徴です。本格的な照明や音響設備、ピアノ等が整っている、安曇野市で一番大きなホールです。多くの皆様にホールの素晴らしさを知ってもらえるように、ホール無料お試し体験を夏と冬の年2回開いています。コンサート用のピアノを広いホールで弾いてみたいという要望にお応えして、令和2年度は『ピアノリレーコンサート』を実施する予定です。



地域づくり

☆地区公民館対抗球技大会

春はソフトボールとドッジボール大会、冬はワンバウンドふらば〜るバレーボール大会を行います。小学生中学生も参加できるよう種目の工夫、初心者チーム編成の工夫をして、いろいろな世代の方が参加しています。

☆さわやか市民運動会

10月に開催する運動会は、豊科地域25地区公民館から選手、応援者が2000人近く集まる一大イベントです。子どもたちも大勢参加できる種目を取り入れ、いろいろな世代の人たちが交流できる場を大切にしています。

学びの場

☆ふるさと探訪講座

「暮らしとともに歩んできた安曇野の建物」「安曇野の道祖神散歩」「安曇野に残したい風景・屋敷林」など、故郷の良さを学ぶ講座を開講しています。バスで巡る臨地講習です。

☆出会いふれ合い生きがい講座

人生の様々な経験を積んでこられた方から学び、人生をより豊かにしようと伝統的に続いています。様々な分野で活躍される方に話をいただいています。

☆楽しい菊づくり講座

大菊3本仕立ての栽培が初心者にも分かりやすく学べるよう実技も交えながら、年6回行っています。



☆親子ふれあい塾

「夏休みフィールドチャレンジ教室」では光城山や長峰山の豊かな自然を巡りながら、いろいろな昆虫や植物に出会いました。「消しゴムハンコづくり」では年賀状やクリスマスカードに使える「消しゴムハンコ」を親子で楽しく作りました。

☆童謡祭り

童謡祭りは「めえめえ兎山羊」を作詞した豊科出身の藤森秀雄の功績をたたえ、毎年5月5日に開かれています。毎年優秀な作品が生まれている小中学生作詞作曲コンクールの表彰も行われ、最優秀作品が披露されます。

☆コーラス交流発表会

豊科地域で活動するコーラスグループが、お互いの歌を聴き合い高め合おうと22年前から始まりました。コーラスの練習の成果の発表には、大勢のお客様に聴きにきていただいています。

☆安曇野市青春ドラマシアター

市内の高等学校4校の演劇部がお互いの演劇を見合い学び合います。大ホールの本格的な音響、照明についても学び、演出や大道具小道具に至るまですべて高校生が手掛けます。若者たちの育ちのお手伝いができることは、公民館としての大きな喜びです。

今年は講座や事業の開催に制約があり思うに任ませんが、地域づくりや生涯学習の灯をしっかりと守っていきたいと思います。公民館に地域の方々が集い、皆さまの笑顔に会える日が一日も早く戻ってくることを心から楽しみにしています。

(豊科公民館長 鈴木桂子)

ばかりである。 (N・H) 新型コロナウイルス感染症拡大防止で自宅に在る事が多く運動不足になりがちである。ラジオ体操と簡単なストレッチを始めた。体を動かす事が健康維持に大事なことを痛感している。コロナが終息する事を祈る

公民館では新型コロナウイルス感染防止対策として、ご本人やご家族に発熱や風邪等の症状がある方は利用の自粛をお願いしています。

利用時には、不特定多数感染防止のために利用者名簿を作成し、利用人数を減らし、短時間での利用をお願いします。

また、熱中症対策もしながら、下記の事にもご協力をお願いいたします。



公民館の貸館について